

NECが推進するオープン標準について

～GHG25%削減のためICTが果たすべき役割～

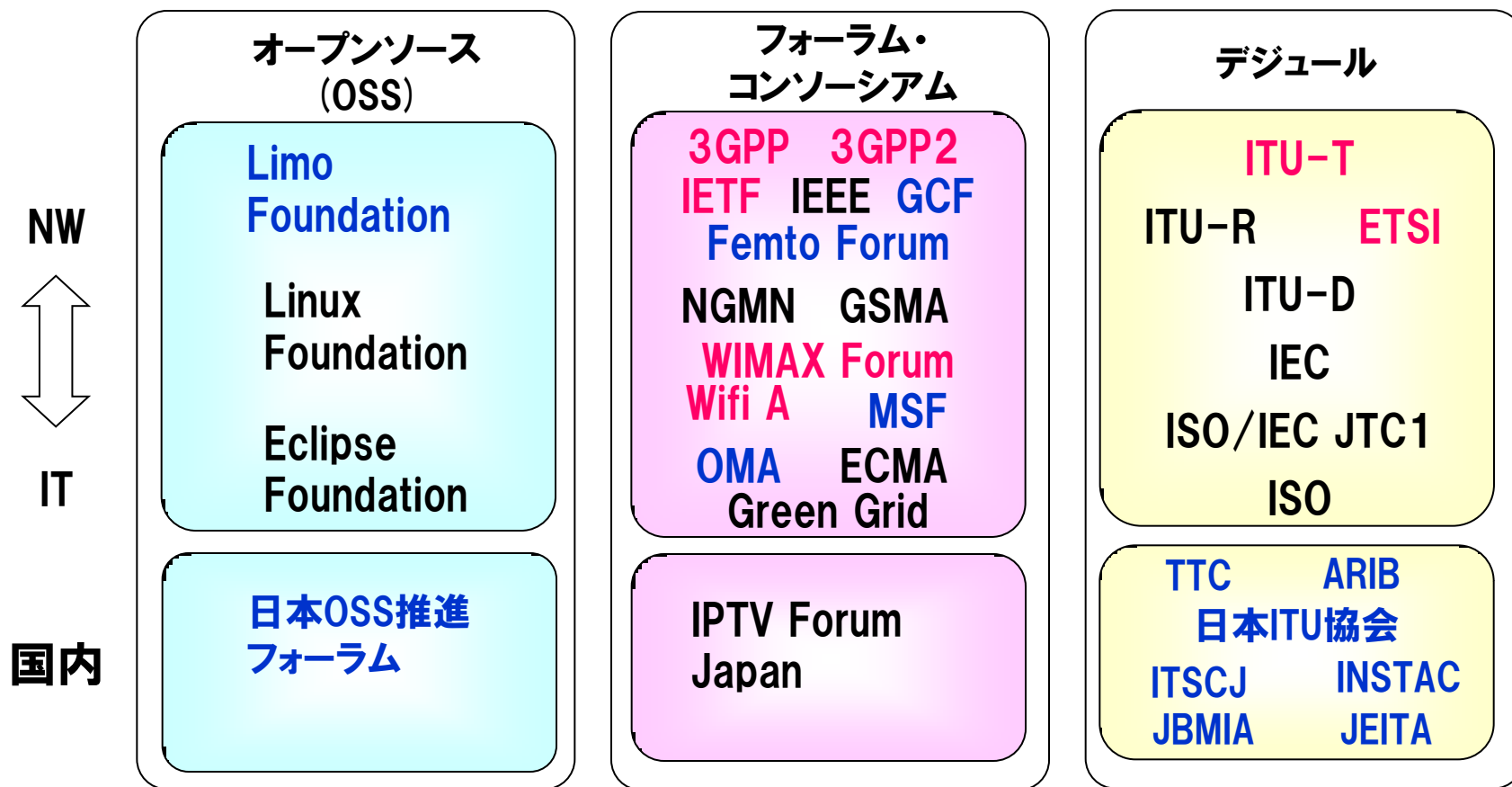
2009年11月16日

日本電気株式会社

國尾 武光

NECの標準化への取り組み

NECは、標準規格の作成・普及からOSS活動まで、デジュール・フォーラム等多数の標準化関連団体に参加し、重要委員会では議長、副議長職も務めている。



団体名 Board member等、運営に関与している団体

団体名 技術委員会の議長、副議長職等を出している団体

オープンな標準化の考え方

- ・ NECの取り組みは、ITU-T等のデジュールだけでなくIETF等各種フォーラム活動も重視しており、グローバルな貢献をヨーロッパ、北米のグループ会社と連携して行っている。
- ・ NECはオープンな標準策定に取り組んでおり、国内での技術開発をベースにグローバルスタンダードへの貢献を行っている。
- ・ NECは、国内標準化に海外ベンダが自由に参加し、オープンな標準化プロセスであるべきと考えている。

オープンな標準化のポイント

1)標準化の意義

要件例示:誰のために、何のために、いつまでの何を定めたものなのか等が明確になっている。

2)参加資格

要件例示:合目的的でかつ妥当、また明確な参加要件が定められている。参加者募集の手段が妥当なものである。

3)審議過程

要件例示:審議過程は公開されているのか、誰に対して公開されているのか、記録は保存されているのか(いつまで確認可能なのか)等

4)審議結果

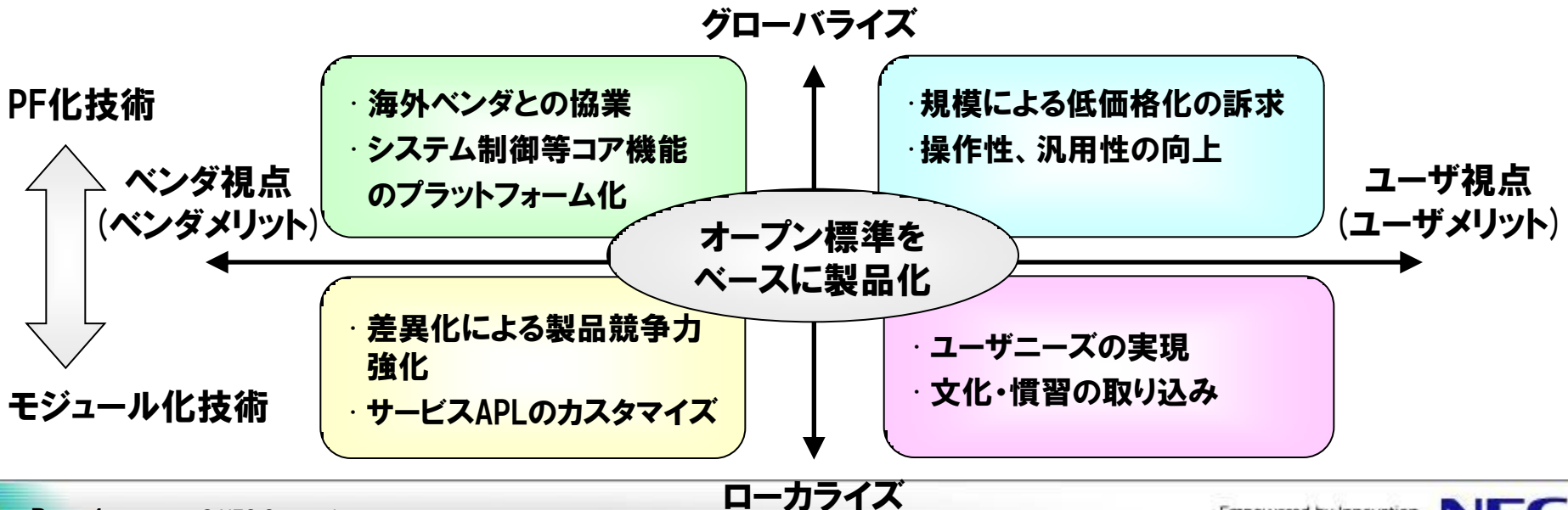
要件例示:審議結果は公開されているのか、誰に公開されているのか、公開手段は等

5)関連地財の取り扱い

要件例示:無償、RAND等

ユーザ視点の考え方

- ・ NECは、オープンな標準への取り組みに賛成し、**ユーザ視点重視のスタンスも賛成・推進している。**
- ・ NECが取り組むユーザ視点とは、個々の製品のユーザ利便性を重視した製品開発であり、製品仕様のローカライズを伴う。
- ・ 経済化を訴求するため規模を拡大するグローバルイズと、個々のユーザーニーズにマッチさせるためのローカライズはバランスよく製品化する必要があり、NECはオープンな標準をベースに、プラットフォーム化、モジュール化等の技術で対応している。



今日本として取り組むべき標準化施策

促進すべき方向性

エネルギー、気候変動等の地球規模の課題を解決するため、**ICTを用いたGHG削減への取り組みを強化すべき。**

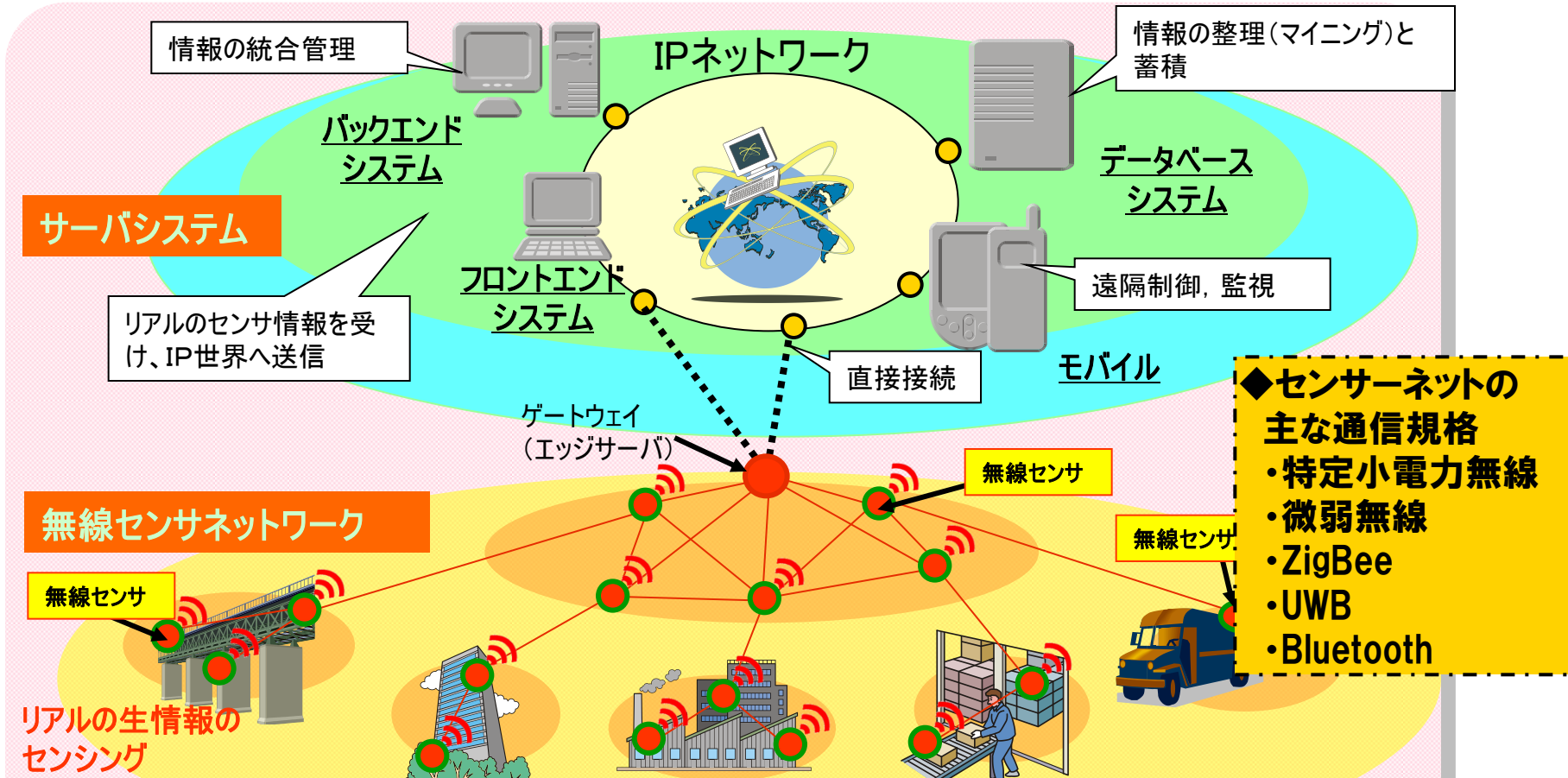
日本として支援すべき案件

- ・ 日本特有でなくグローバル環境で検討すべき案件
- ・ 日本単独では実現できず、海外プレイヤーとの協業・協調が必須な案件
- ・ 日本の技術を生かして、開発途上国への貢献ができる案件
- ・ 標準化プロセスとして、オープンでユーザ視点であること

これらの要件を満たす標準化施策として、**センサーネットワーク関連技術の標準化推進**を提案する。

センサーネットワークとは

センサ、信号処理、通信の3つの機能を備えた端末LSI (センサ・チップ) を様々なものに配置することによってネットワークを形成し、センシングした情報をネットワークで管理システムに伝達するシステム。



センサーネットワークは、流通・製造・エネルギー(スマートグリッド)等へ幅広い応用が可能で、**インフラの効率化によりGHG削減に直接的に貢献できる。**

まとめ

NECの標準化の基本方針は、オープンな標準の推進であり、ユーザ視点・ユーザメリットを重視した製品化を目指している。

オープンな標準化の具体的な一つの提言

- ・ NECは、**センサーネットワーク関連技術の標準化を推進するため、オープンなフォーラムの設立を提言したい。**
- ・ NECは、**センサーネットワーク技術開発・普及を促進するため、欧州、北米等のベンダ、キャリアにも、NECが推進する活動への参加を呼びかけたい。**
- ・ **センサーネットワークのオープンな標準化促進と、開発された技術を開発途上国へ普及促進するために、日本政府のご支援をお願いしたい。**
- ・ NECは、日本の優れた環境技術を生かしたセンサーネットワークをグローバルに普及させ、**地球的規模の問題解決のためのリーダーシップを発揮したいと考えている。**

Empowered by Innovation

NEC